






ベクティビックス・FOLFIRI療法を受けられる患者さんへ

お名前						様						担当医:						説明看護師:					
月日		/		/		/		/		/		/		/		~							
経過		治療前日		治療当日		2日目		3日目		4日目		~		退院									
達成目標		・入院生活や治療について医師や薬剤師、看護師の説明が理解できる。		・チューブとインフューザーポンプの取り扱いがわかる ・副作用(吐き気・食欲不振、疲労感、皮膚症状など)やふらつきが出現したときに看護師に知らせることができる。				・ポート針の抜き方がわかる ・退院後の生活や次回の治療について、不安や疑問があれば確認することができる。															
治療・薬剤(点滴・内服)処置				吐き気止めとベクティビックスとイリノテカンとレポホリナートと5FUを点滴します。全部で3~4時間程かかります。 最後に5FUをインフューザーポンプで投与します。(46時間) ベクティビックス投与中は心電図モニターを装着します。				インフューザーポンプの中身がなくなったら、針を抜いて終了です。 針を抜く方法を練習します															
検査		採血がある場合があります 						吐き気止めの薬(デカドロン)を飲みます。→															
活動・安静度		制限はありません 																					
食事		食事制限はありません 																					
清潔		シャワー浴できます 		治療当日にシャワー浴される場合は、点滴前に済ませて下さい インフューザーポンプでの投与中は下半身シャワー浴はできません								シャワー浴できます 											
排泄		トイレに行けます																					
患者さん及びご家族への説明		医師及び薬剤師より治療内容の説明があります		<ul style="list-style-type: none"> ・イリノテカンの副作用で、点滴中に下痢・鼻水がでる・涙がでる・汗がでるなどの症状が起こることがあります。 ・ベクティビックスの副作用に、にきび様の発疹、皮膚の乾燥、ひび割れ、炎症、感染症、爪囲炎がおこることがあります。 ・皮膚の症状に応じて、塗り薬や飲み薬で対処します。皮膚症状は日光に当たるとさらに悪化する場合があります。 ・症状がひどいときは注射薬を使用する場合があります。 ・吐き気などの症状が現れた場合は、我慢せずに看護師にお知らせください。内服や注射で症状の軽減をはかりませう。 ・食欲がなくなって食事が十分に食べられない場合には、栄養士による相談が受けられます。 ・定期的にCVポート刺入部とインフューザーポンプを確認します。 ・外来通院で治療できる抗がん剤になるため、退院前に外来化学療法室に見学に行きます。 ・手洗い・うがいをこころがけましょう。 										